

令和8年度 杏林大学 保健学部 一般選抜（前期日程）

「国語」入学試験問題 出題意図

2月3日（火）、4日（水）、5日（木）の三日間に行われた入学試験は、それぞれ、現代文の長文読解2題、漢字・語彙など国語の常識 1題の、合計3題を出題した。現代文の長文は 1800～2800字で、論理的な文章（評論）と文学的な文章（小説・エッセイ）を組み合わせた。性格の異なる二種類の文章の読解を通して読解力や語彙力を軸に総合的な学力を問うものである。

Iの論理的な文章（評論）では、客観的に正しく読みとる力を問う。内容説明、空所補充、指示内容、語彙 接続詞などの問を組み合わせた。全体の構成、全体の論理の展開の読み取りを問うため、段落挿入箇所を問う問題、また、全体の内容についての真偽を問う問題を最後においた。

IIの文学的な文章（小説・エッセイ）では、主観的な文章を適切に読みとる力を問う。Iと同じく、内容説明、空所補充、指示内容、語彙 接続詞を問う問題のほか、登場人物（または筆者）の心理、表現の特徴（レトリック）の適切な読みを問う問題がある。

IIIは、漢字と語彙、国語の常識を問うもので、はじめの 5 題は漢字についての出題である。問題にかかわる漢字の語はカタカナで示され、4つの選択肢でも同様にカタカナで示されている熟語の中で、問題文と同じ漢字が使われているものを選ぶように求めている。カタカナで書かれた部分の漢字を認識するのに必要な語彙力、漢字の知識が問われる。後半の 5 題は「国語の常識」として、1日目はことわざ、2日目は類義語、三日目は対義語について出題した。それぞれ語彙の知識、または漢字や文脈からの推察力を問うものである。

日程		種別	類別	内容	出典
2月3日	I	現代文	評論	44字×42行（1848字）	平野啓一郎『「カッコいい」とは何か』
	II	現代文	小説	44字×63行（2772字）	野々井透 「棕櫚を燃やす」
	III	国語常識		漢字と語彙、ことわざ完成	
2月4日	I	現代文	評論	44字×47行（2068字）	山田圭一『フェイクニュースを哲学する』
	II	現代文	随想	44字×42行（1848字）	伊集院静「忘れなくていい」
	III	国語常識		漢字と語彙、類義語	
2月5日	I	現代文	評論	44字×47行（2068字）	谷崎潤一郎「文章読本」
	II	現代文	随想	44字×46行（2024字）	小川洋子「赤ん坊の握りこぶし」
	III	国語常識		漢字と語彙、対義語	

令和 8 年度 杏林大学 保健学部 一般選抜（前期日程）

「数学」入学試験問題 出題意図

数学では、大問 1 の小問群、大問 2 の図形問題、大問 3 の場合の数と確率またはデータの分析から出題した。出題範囲は数学 I および数学 A で、基本的な数学的知識の正しい理解を測れるような問題を出題した。大問 1 では当該分野における計算能力を、大問 2 では平面または空間の図形から数学的論述能力を測ることを目的としている。大問 3 では、統計分析に必要な論証力を測るための問題を出題した。各試験日ごとの出題内容は以下の通りである。

2 月 3 日 実施分

1. 数と式、二次関数、集合と命題、場合の数と確率の各分野に関する計算問題。
2. 図形の性質として平面図形に関する問題
3. 場合の数と確率に関する問題

2 月 4 日 実施分

1. 数と式、二次関数、集合と命題、場合の数と確率の各分野に関する計算問題。
2. 図形の性質として平面図形に関する問題
3. 場合の数と確率に関する問題

2 月 5 日 実施分

1. 数と式、一次不等式、集合と命題、場合の数と確率の各分野に関する計算問題。
2. 図形の性質として空間図形に関する問題
3. データの分析に関する問題

令和 8 年度 杏林大学 保健学部 一般選抜（前期日程）

「物理」入学試験問題 出題意図

3 日目

I

力学からの出題で、摩擦のある斜面で物体に力を加えたときの力のつり合いや物体の加速度、エネルギーなどの理解を問う設問である。

II

電磁気学からの出題で、オームの法則、電気回路、電力、磁場と磁力などの理解を問う設問である。

III

電磁波、放射線からの出題で、原子の構造、核反応式（ⅢA のみ）、半減期（ⅢB のみ）、電磁波の種類と利用などの理解を問う設問である。

令和 8 年度 杏林大学 保健学部 一般選抜（前期日程）
「化学」入学試験問題 出題意図

【一般型選抜】3 日間とも同じ

高校化学の知識の理解度を問うのはもちろんのこと、出題されている数値を解釈し、それを用いて計算を行うことで解答を導き出す問題が配置されている。

➤ 問 1

高校『化学基礎』の基礎的な知識を問う問題です。

➤ 問 2

高校『化学基礎』の基礎的な知識とその応用力を問う問題です。

➤ 問 3A

高校『化学』の基礎的な知識とその応用力を理論化学・無機化学と有機化学に関する項目から問う問題です。

➤ 問 3B

問 2 と同様に高校『化学基礎』の基礎的な知識とその応用力を問う問題です。

問題	問	意図
I	問1	酵素の特徴を問う。
	問2	身近な酵素の役割を問う。
	問3	特定の基質に対する酵素の具体例を問う。
	問4	カタラーゼの働きを問う。
	問5	酵素と触媒の実験から導かれる結果を問う。
	問6	酵素と触媒の違いについて問う。
	問7	ATPの構造の特徴を問う。
	問8	ATPの役割を問う。
	問9	エネルギーの本体である高エネルギー結合について問う。
	問10	呼吸と光合成をおこなう細胞小器官を問う。
	問11	呼吸基質について問う。
	問12	光合成の材料について問う。
	問13	光合成により生じる物質を問う。
II	問1	バイオームの垂直分布について基本的な知識を問う。
	問2	バイオームの水平分布について基本的な知識を問う。
	問3	植生の遷移について基本的な知識を問う。
	問4	遷移に関する基本的な知識を問う。
	問5	特定外来生物について基本的な知識を問う。
	問6	人為的攪乱について理解し、それをグラフから読み取る能力を問う。
	問7	人為的攪乱について理解し、それをグラフから読み取る能力を問う。
	問8	食物網について基本的な知識を問う。
	問9	キーストーン種に関する基本的な知識を問う。
III A	問1	地球誕生後、生命誕生のしくみを問う。
	問2	真核生物に共通の構造とその由来を問う。
	問3	生命体の条件となるものを問う。
	問4	原始地球で生命が誕生するためのしくみを問う。
	問5	独立栄養生物の起源を問う。
	問6	ヒトの系統分類学上の位置を問う。
	問7	現在のヒトへの進化の歴史を問う。
	問8	霊長目の共通祖先のもつ特徴を問う。
	問9	ヒトと類人猿との違いを問う。
	問10	遺伝子型の頻度が一定で平衡状態の集団で、アレルごとの遺伝子頻度を計算する。
	問11	集団内の遺伝子頻度の平衡が崩れたとき、アレルごとの遺伝子頻度の変化を推測する。
	問12	継代的な遺伝子頻度の変化による将来的な集団内の遺伝子構成の変化を推測する。
III B	問1	細胞周期におけるDNA量の変化について問う。
	問2	DNAの相補性と半保存的複製について問う。
	問3	DNAの相補性と半保存的複製について問う。
	問4	体細胞分裂に伴う染色体の変化について問う。
	問5	遺伝子発現調節に基づく細胞分化について問う。
	問6	コドンの種類とアミノ酸の種類の関係性について問う。
	問7	各アミノ酸を指定するコドンについて問う。
	問8	遺伝暗号表の読み方を問う。